

代表者氏名	所属	カヌーの愛称
細田 暁	横浜国立大学	ハマファイバー

# カヌー競技へ初挑戦



横濱國大新聞

号外

## 様々な材料を駆使

梅雨明け間近の7月中旬、複合構造研究室メンバー総出でカヌー製作は始まった。

夏休み中の学生のスケジューリング調整の難しさや、多くの困難を乗り越えながら概ね1ヶ月半で、横浜国大初のコンクリートカヌーは完成した。

このカヌーの特徴は、研究室の得意分野を生かして様々な材料を駆使した点である。本体には、材齢初期のひび割れを抑制するために無収縮モルタルを使用し、2軸繊維メッシュシートと合成短繊維を併用して強度を確保した。施工箇所に応じて増粘剤を添加した。カヌー

表面には浸水防止のために表面含浸材を塗布し、その養生方法にも研究成果が生かされている。また、パドルに關してもFRP（繊維強化プラスチック）で製作することで強度および本物と見紛うほどの形状美を確保している。

夏合宿で訪れた群馬県の奈良俣ダム湖で漕艇練習を積み、クルーの養成も完了した。

初挑戦ということもあり、当初無事に浮かんで帰ってこられれば大成功と思いつながら始めたカヌー作りだが、カヌー本体とクルーが順調に仕上がってくるにつれて、「入賞の欲も出てきた」と土木学会関東支部カヌー大会を視察に訪れた総監督の細田暁助教教授は語った。

（白川 裕之）



表面含浸材を塗って夢を託す



脱型の喜びを表現する児玉と我彦